

特別支援教室自立活動 指導案（個別指導）

日 時 令和〇年〇月〇日（〇）
 第〇校時（〇時〇分～〇時〇分）
 対 象 第3学年〇組 〇〇 〇〇
 授 業 者 〇〇 〇〇

- 1 ねらい <自立活動における内容の取扱い>
 - ・安心して学校生活を送れるようにする。<2-(1)>
 - ・注意・集中を高め、学習に意欲が持てるようにする。<4-(1)>
 - ・自分の気持ちを言葉で伝えられるようになる。<6-(2)>

2 生徒観（生徒の実態）
 （略）

3 展 開

時	学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価内容と方法
導入 6分	○あいさつをする。 ○日誌の記入 （本時の活動とめあての確認）	★顔を上げて、目を見てあいさつができるとよい。 ★今日の状態を理解し、それに応じた声掛けをする。 ★昨夜から今朝にかけての生活に大きな変化はないかを確認する。 ★安心して学習ができる環境を整える。 ★本時の見通しをもたせる。	○学習へのモチベーションを持つ。 ○学習の見通しがもてる。
展開 (1) 10分 (2) 10分 (3) 20分	(1) ・これなあに？ ・トランプ遊び ・同じ絵探し (2) セリフを考える （絵①） (3) 言葉で伝える （絵②）	○注意・集中のトレーニングとメインの活動（2・3）へのウォーミングアップを兼ねて行う。 ○本生徒が書いた絵に吹き出しをつけ、セリフを考えさせる。親しみやすい名前を付けて、そのキャラクターの立場に立つてことばを考える中で、自分の状況を客観的にとらえられるようにする。 ○今の自分を言葉で伝える。「私は～です。」 ○これからの自分を言葉で伝える。「私は～したいです。」 ○援助してもらいたいことを言葉で伝える。「私は～してもらいたいです。」 ★何か聞かれても黙り込んでしまうことが多いが、自分の描いた絵の説明として言語を表出させることはできそうである。相手に届く言葉を使わせたい。	○リラックスし活動を楽しんでいる。 ○集中している。 ○セリフを考えることを楽しんでいる。 ○よりよい言葉を選ぼうとする。 ○相手に伝えるための言葉を使っている。
まとめ 4分	○振り返りと日誌の記入（活動のまとめを行う）	○自分の言葉で本時の活動を振り返らせる。 ★ねらいに沿って取り組みを具体的な言葉で評価する。	○できたことを自分で評価できる。 ○気持ちを言葉で表出することの大切さがわかる。